

令和7年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただけたため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	175	58	62	5.2	6.1
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	518
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	178	72.5	56.5	65.6	54.2	62.5	3.3	4.1	8.2	6.6	4.4
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.1	9.4	6.5
	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4

※ 3年生の理科はB問題を選択

**令和7年度 花乃井中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

<国語> 平均正答率を全国と比較して、「話すこと・聞くこと」の領域において全国より4.9P、「書くこと」の領域において全国より3.3P、「読むこと」の領域において全国より4.2P高い。今後も問題と個票を分析し、「できない」ところを「できる」に変える授業づくりを継続する。

<数学> 平均正答率を全国と比較して、「数と式」の領域において全国より14.8P、「図形」の領域において全国より14.4P、「関数」の領域において全国より12.2P、「データの活用」の領域において全国より13.0P高い。今後も問題と個票を分析し、「できない」ところを「できる」に変える授業づくりを継続する。

【今後に向けて】

正答数分布グラフから、第IV区分に該当する生徒の「できない」ところを把握し、「わかる」から「できる」に変える授業を実施する。
また、平均無回答率が大阪市、大阪府、全国と比べて、あまり差がないことから、諦めずに解くことの習慣をつけることが課題である。

○3年生チャレンジテスト

<国語> 得点分布の状況を高い順に概ね25%になるように区切り、区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳに分けると、区分IVが0点から64点となる。中央値は大阪府が67.0に対して、本校は75.0となる。よって大阪市、大阪府と比べて得点分布ヒストグラムが、得点が高い方に大きくずれた山型になっている。

<社会> 得点分布の状況を高い順に概ね25%になるように区切り、区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳに分けると、区分IVが0点から49点となる。中央値は大阪府が51.0に対して、本校は57.5となる。よって得点分布ヒストグラムが、左右対称の山型になっている。

<数学> 得点分布の状況を高い順に概ね25%になるように区切り、区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳに分けると、区分IVが0点から59点となる。中央値は大阪府が55.0に対して、本校は67.0となる。よって大阪市、大阪府と比べて得点分布ヒストグラムが、得点が高い方に大きくずれた山型になっている。

<理科> 得点分布の状況を高い順に概ね25%になるように区切り、区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳに分けると、区分IVが0点から39点となる。中央値は大阪府が44.0に対して、本校は55.0となる。よって得点分布ヒストグラムが、横長の左右対称の山型になっている。

<英語> 得点分布の状況を高い順に概ね25%になるように区切り、区分Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳに分けると、区分IVが0点から64点となる。中央値は大阪府が67.0に対して、本校は75.0となる。よって得点分布ヒストグラムが、横長のギザギザ型になっている。

<生徒アンケート> 質問項目「あなたの学級は、違った考え方や意見を受け入れる雰囲気がある。」「学校などで、他の人と協力し合うことができる。」にて、肯定的回答である「当てはまる」を回答している割合が、大阪市と大阪府よりも約10%高い。

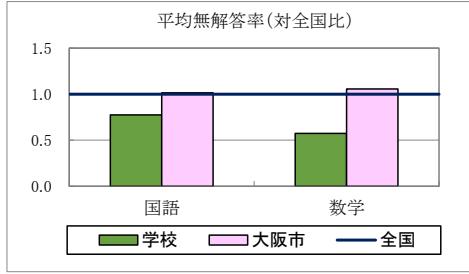
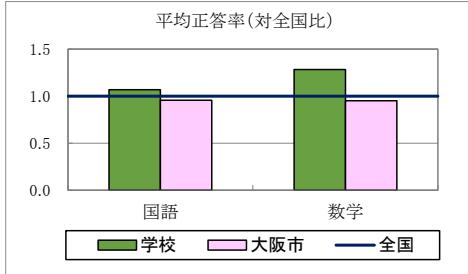
**令和7年度 花乃井中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	58	62
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

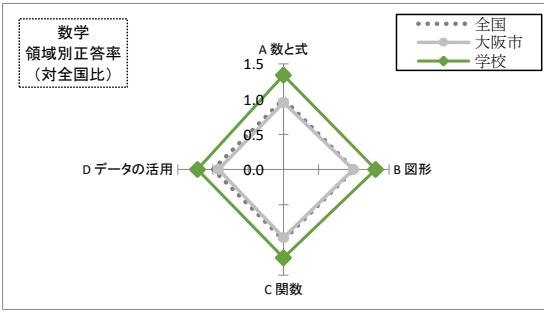
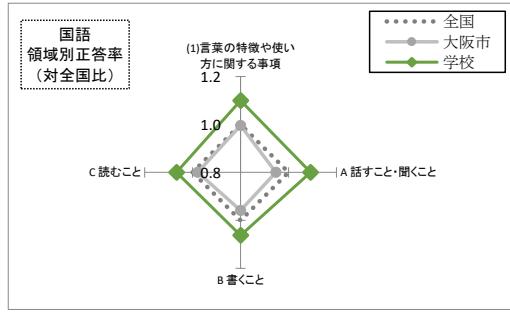
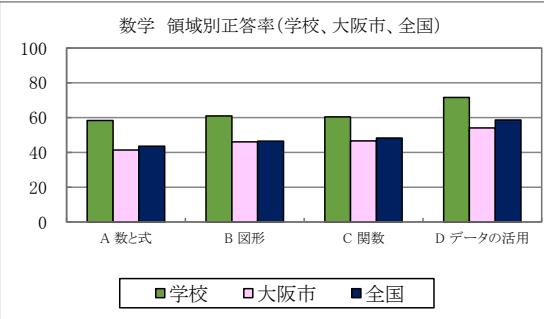
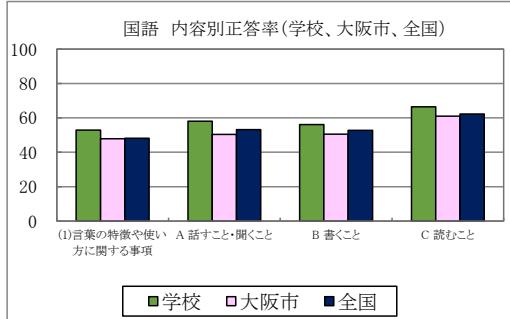
平均無解答率(%)	
国語	数学
5.2	6.1
6.8	11.2
6.7	10.6



【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	52.9	47.9	48.1
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	58.1	50.4	53.2
B 書くこと	5	56.1	50.6	52.8
C 読むこと	3	66.5	61.0	62.3

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	58.3	41.4	43.5
B 図形	4	60.9	46.1	46.5
C 関数	3	60.4	46.6	48.2
D データの活用	3	71.6	54.0	58.6

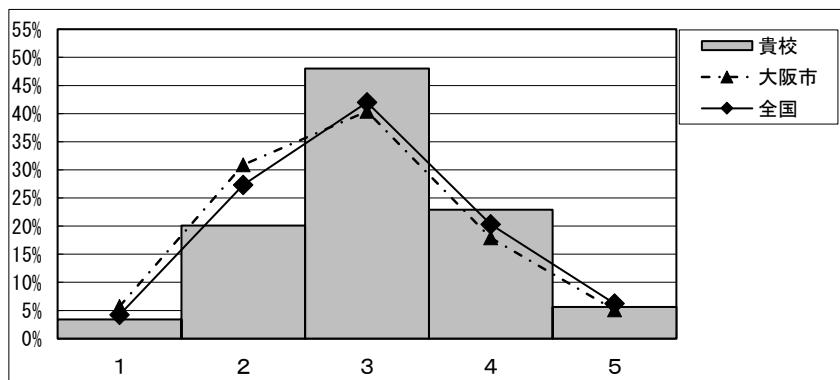
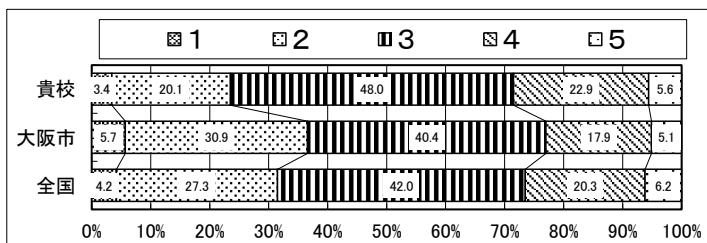


令和7年度 花乃井中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	518
大阪市	489
全国	503



令和7年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

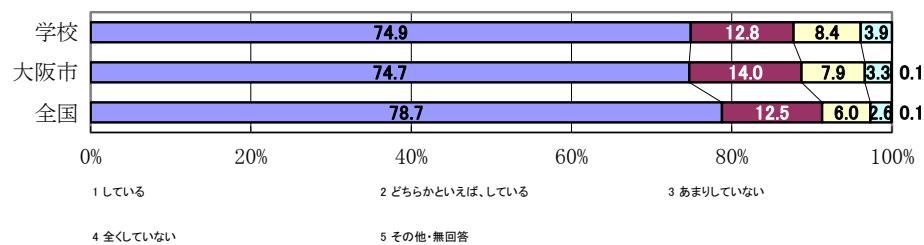
生徒質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

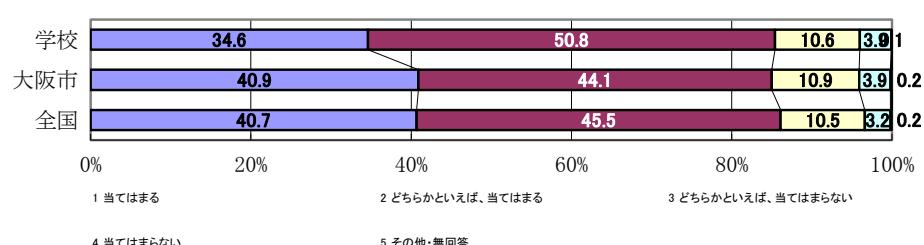
1

朝食を毎日食べていますか



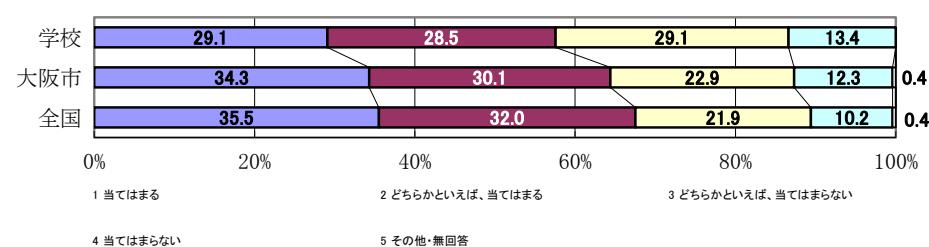
5

自分には、よいところがあると思いますか



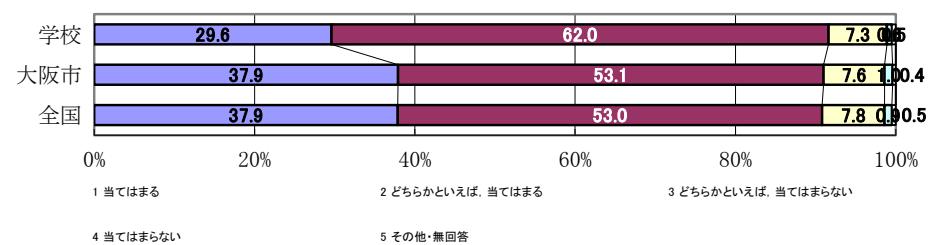
7

将来の夢や目標を持っていますか



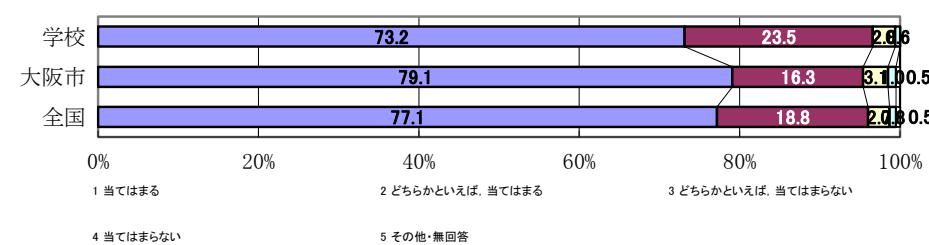
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



令和7年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

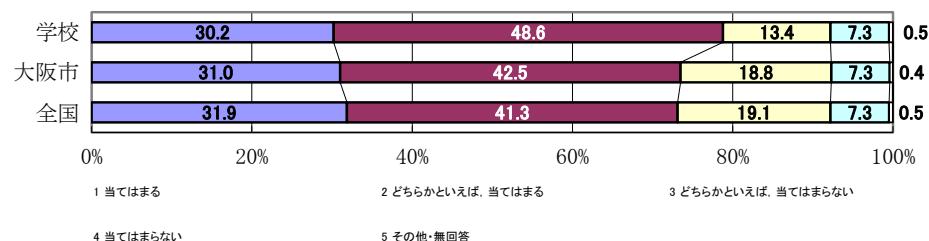
生徒質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

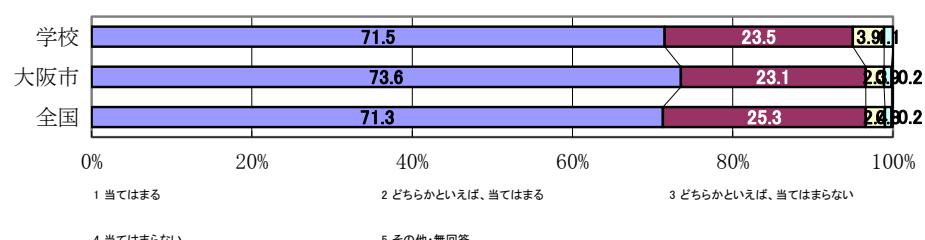
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



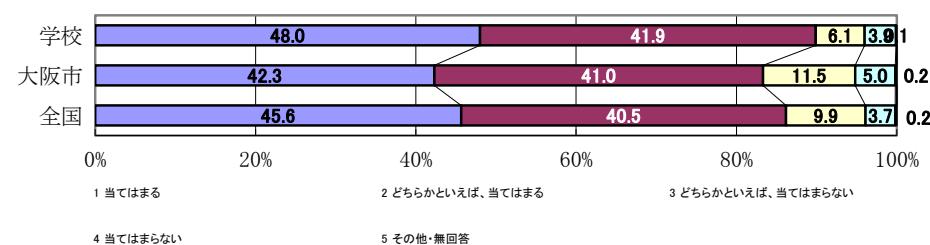
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



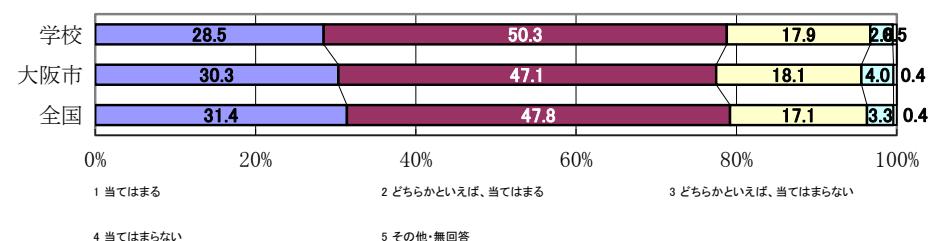
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



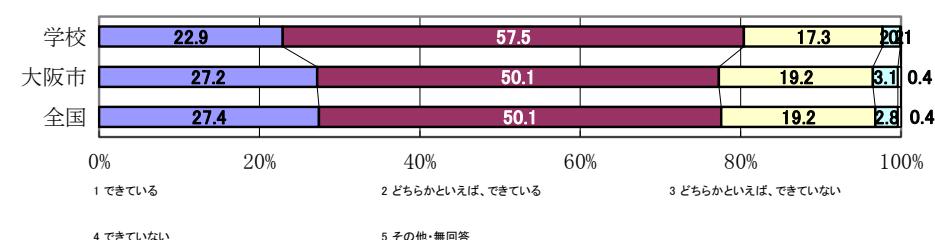
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



16

分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



令和7年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

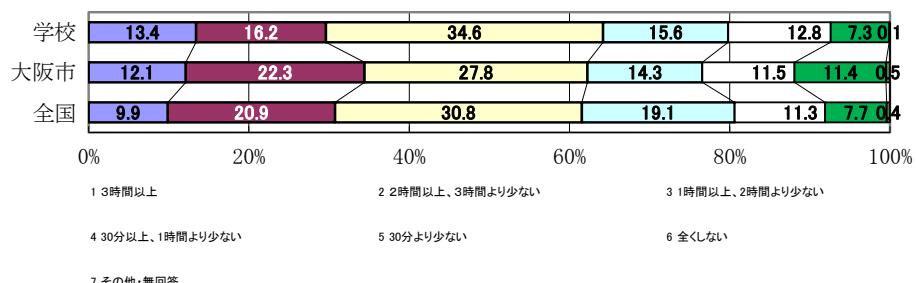
生徒質問より

■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8

質問番号
質問事項

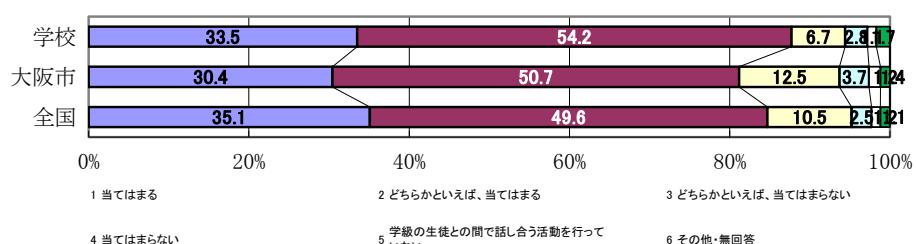
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



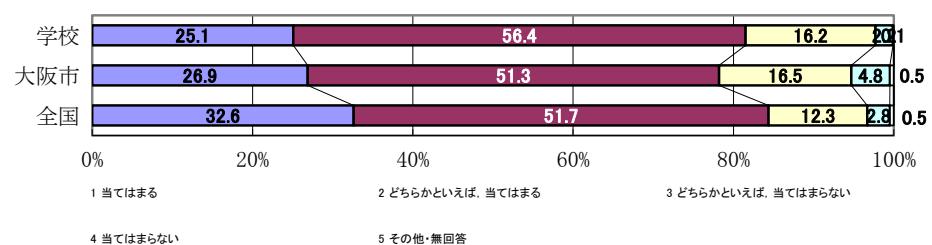
35

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方につなげたりすることができていますか



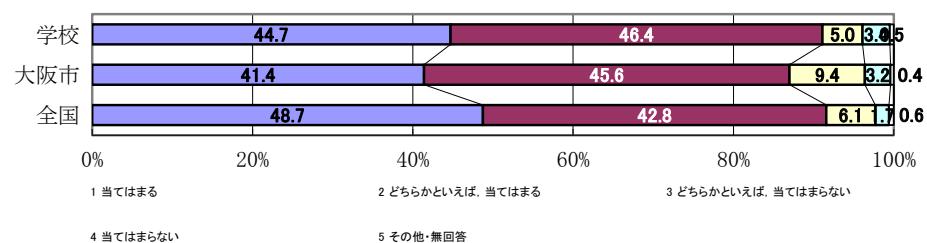
41

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



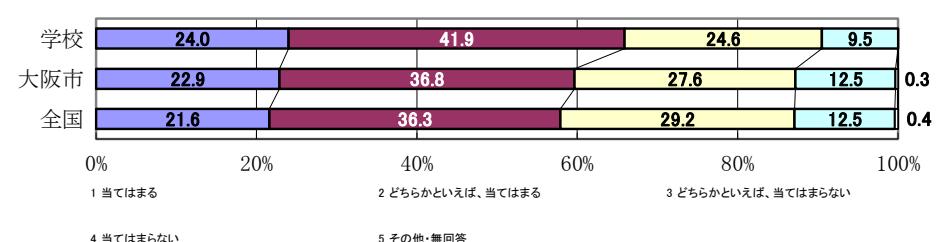
43

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



45

国語の勉強は好きですか



令和7年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

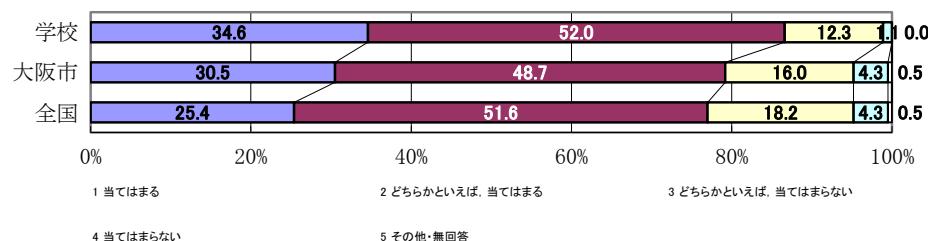
生徒質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

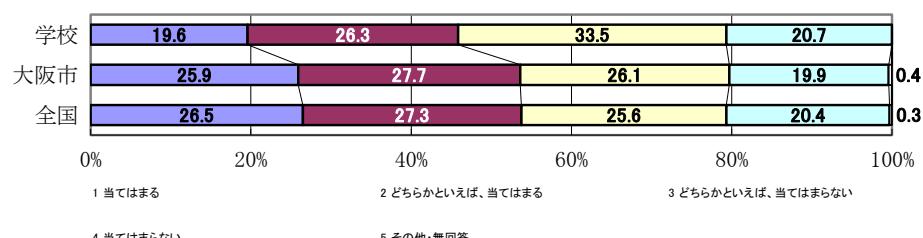
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



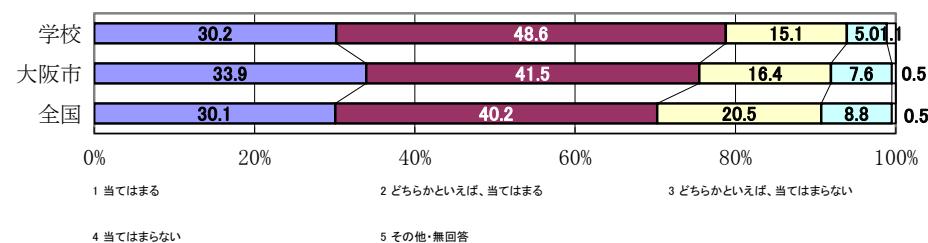
53

数学の勉強は好きですか



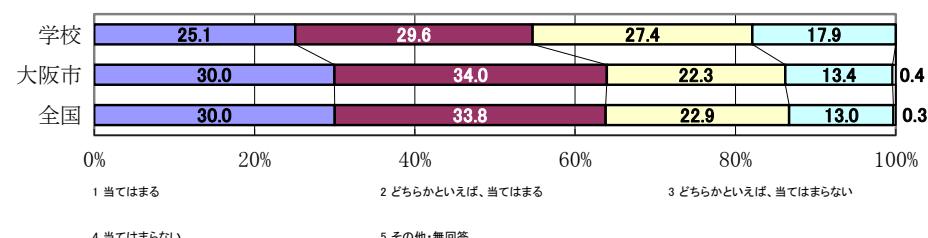
54

数学の授業の内容はよく分かりますか



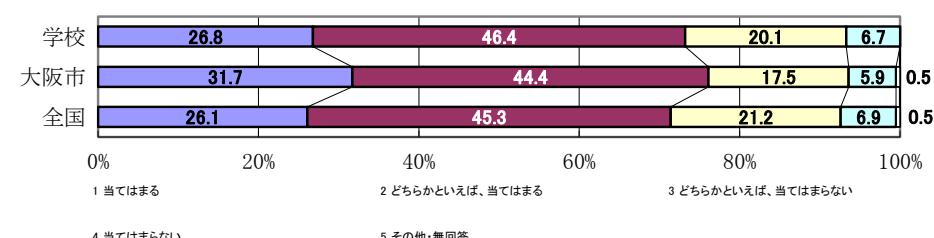
61

理科の勉強は好きですか



62

理科の授業の内容はよく分かりますか



令和7年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

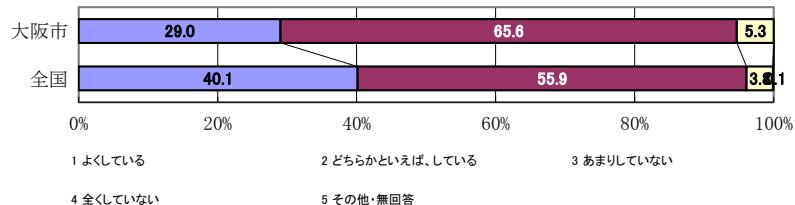
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

15

生徒の姿や地域の現状等に
関する調査や各種データなど
に基づき、教育課程を編成
し、実施し、評価して改善を図
る一連のPDCAサイクルを確立
していますか

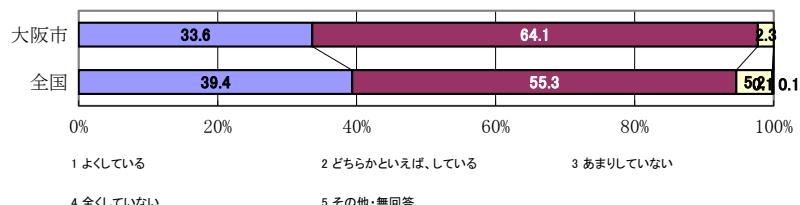
学校 「どちらかといえば、している」を選択



17

言語活動について、国語科を
要としつつ、各教科等の特質
に応じて、学校全体として取り
組んでいますか

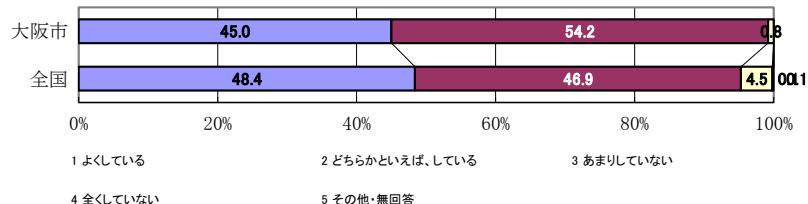
学校 「どちらかといえば、している」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

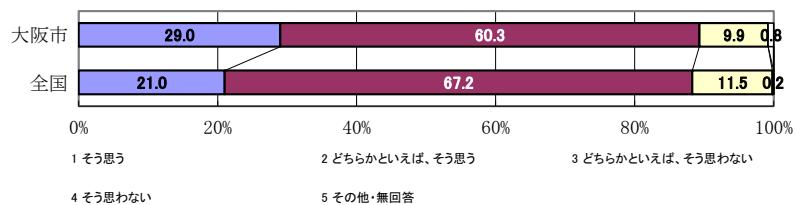
学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の生徒は、授業
では、課題の解決に向けて、
自分で考え、自分から取り組
むことができていると思いま
すか

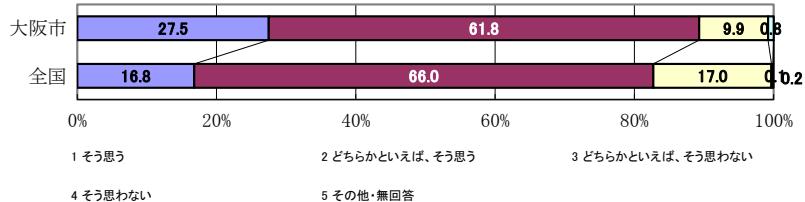
学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の生徒は、授業
において、自らの考えがうまく
伝わるよう、資料や文章、話の
組立てなどを工夫して、発言
や発表を行うことができている
と思いますか

学校 「そう思う」を選択



令和7年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

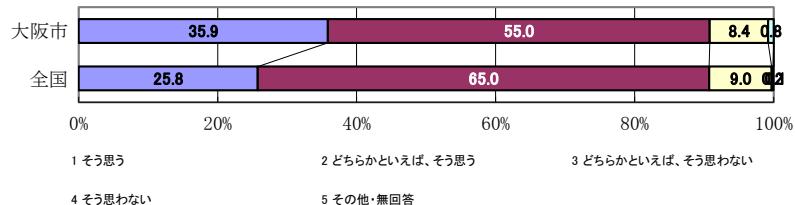
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

27

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

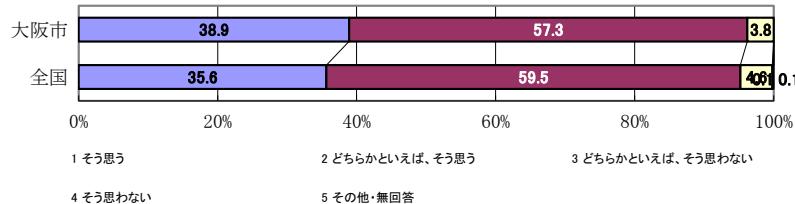
学校 「そう思う」を選択



28

調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

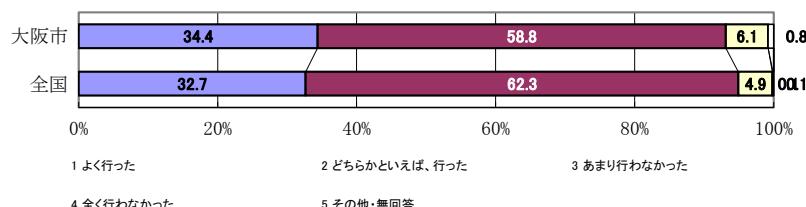
学校 「そう思う」を選択



31

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

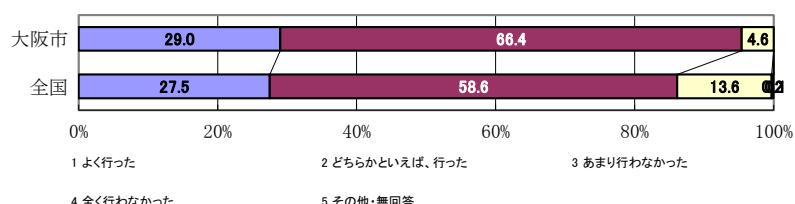
学校 「よく行った」を選択



32

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

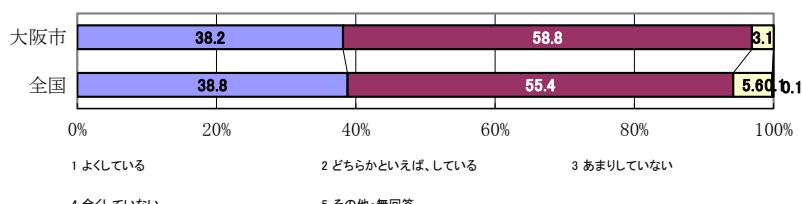
学校 「よく行った」を選択



37

調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



令和7年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

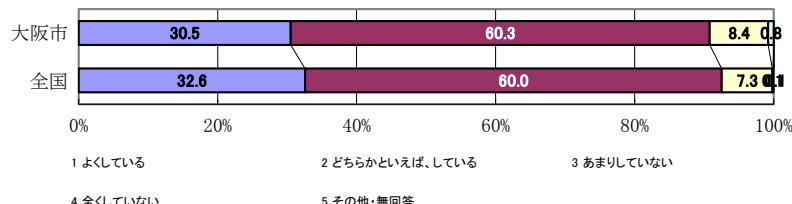
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

38

調査対象学年の生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話合いを生かして、一人一人の生徒が意思決定できるような指導を行っていますか

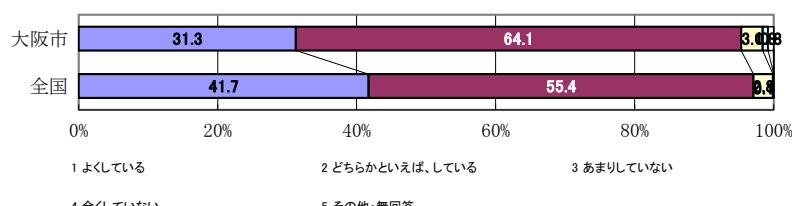
学校 「どちらかといえば、している」を選択



39

調査対象学年の生徒に対して、特別の教科（道徳において）、取り上げる題材を生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

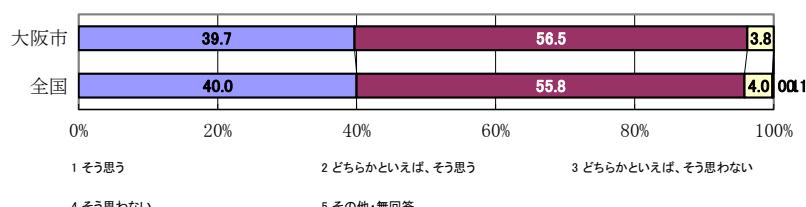
学校 「どちらかといえば、している」を選択



40

調査対象学年の生徒に対する指導に関して、前年度までに、学習評価の方針を生徒に示した上で、生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かすことを心がけましたか

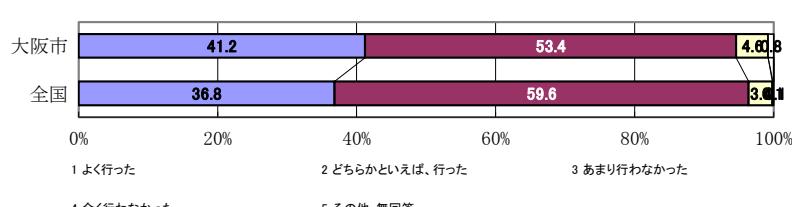
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



42

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の授業で、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか

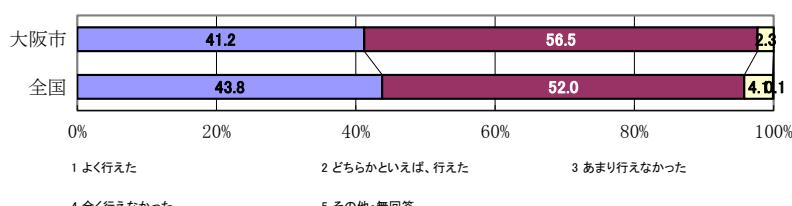
学校 「よく行った」を選択



48

調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまずいた生徒に対する対応を行っていましたか

学校 「どちらかといえば、行えた」を選択



令和7年度 花乃井中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

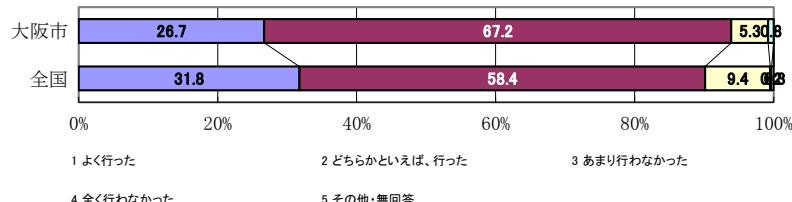
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

53

調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、課題解決の過程における自分や友だちの学びの深まりや疑問に思ったことを振り返ることができるように指導を行いましたか

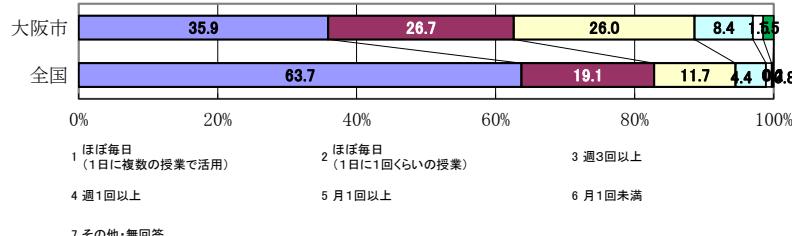
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



58

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

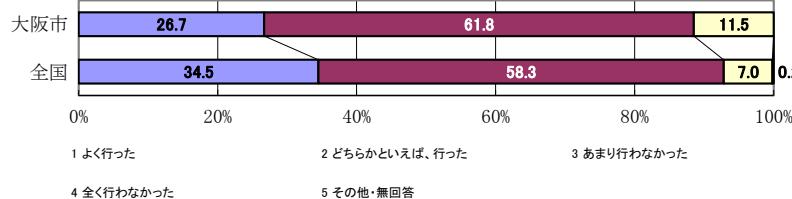
学校 「ほぼ毎日(1日に1回くらいの授業)」を選択



80

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

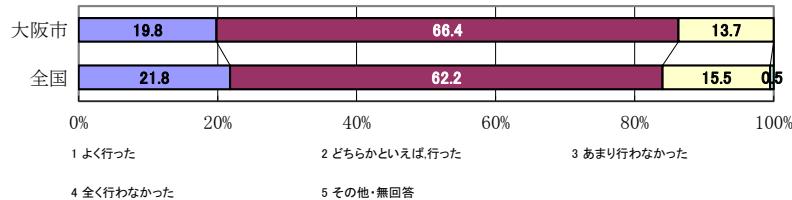
学校 「よく行った」を選択



82

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かしましたか

学校 「よく行った」を選択



83

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

学校 「行った」を選択

